



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース

No.62

(2019年7月1日)

〒101-0062東京都千代田区神田駿河台

3-2-11連合会館1階 平和フォーラム内

TEL:03-3526-2920/FAX:03-3526-2921

<http://anti-war.info>

市民と野党の共闘で、参議院選挙に勝利しよう！ 改憲発議を断念させ、安倍政権を退陣させよう！

5. 3憲法集会には約6万5000人の人びとが集まり、
「改憲発議絶対反対！」の声を上げました。(今井明さん撮影)



5月3日、東京・有明防災公園で「平和といのちと人権を！5.3憲法集会 —許すな！安倍改憲発議—」を開催し、約6万5000人もの人びとにご参加をいただきました。野党各党の党首も勢揃いし、国会内外を貫く市民と野党の共同で、安倍政権による改憲発議を阻止する決意を固めあうことができました。

安倍首相は、恒例となった改憲派集会でのビデオメッセージをはじめとして、いまなお改憲に向けた意欲を語っています。しかし、今通常国会においては衆参憲法審査会をほとんど動かすことができず、したがって改憲発議の前提となる「国民投票法」の改正に手をつけることもできず、また自民党改憲案の国会での提示を行うこともできないまま、国会会期末を迎えました。

世論調査においても、改憲を求める声はまったく高まっていません。自公の3分の2以上の議席数を維持するために衆議院解散—衆参同時選挙に打って出るという策動などもありましたが、アベノミクスや外交の失敗、また年金問題なども浮上するなかで不発に終わりました。

このことによって、これまで安倍首相が掲げてきた「2020年改憲」は、ほぼ失敗したことになります。とはいえ、改憲策動がストップしたとは言いきれません。安倍首相が政権の座にある間は、改憲の旗幟を下すことはあり得ず、むしろ支持基盤維持のためにいっそう執着し、から叫びを続けていくほかないからです。改憲勢力によるキャンペーンも続いており、完全に断念させるまでは、決して気を抜くことはできません。

最終的に改憲断念へと追い込むうえで、この7月に行われる参議院選挙は、決定的に重要になっています。市民連合と野党各党は13項目の政策合意を確認するとともに、全国32の一人区での野党統一候補擁立を実現しました。この機会をとらえ、自民など改憲勢力を（改憲発議に必要な）3分の2以下にすることはもちろんのこととして、立憲野党勢力を大きく育てることが求められています。

全国の皆さん！ 戦争をさせない1000人委員会は、この参議院選挙を、全国の市民と野党の共同の力で勝利するために、力を尽くしていただくことを、心から呼びかけます。そのことが戦争法・共謀罪の廃止、辺野古新基地建設阻止を実現し、一人ひとりのいのちの尊厳を大切にする平和な未来を私たちが掴み取るための、重要なステップになると考えます。ともにがんばりましょう！

年金報告書隠すな！安倍改憲NO！参議院選勝利！

6.19国会議員会館前行動に3500人



6月19日、総がかり行動実行委員会・全国市民アクション共催の国会議員会館前行動が行われました。45回目となる「19日」行動に、約3500人の市民が結集し、7月の参議院選挙、憲法破壊をすすめる安倍政権と真っ向からたたかいぬくことを確認しました。

冒頭、この間とりくんできた「安倍改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」119万筆超の追加提出にあたり、野党各党の議員に対し、手渡しを行いました。

続いてシュプレヒコール。この日行われた党首討論での安倍首相の不誠実極まりない答弁、そして年金報告書を握りつぶして恬として恥じない麻生財務相に対する怒りに満ち満ちた声が、国会に向けたたきつけられました。

主催者あいさつを行った長尾ゆりさん（憲法共同センター）は、この会期末直前まで改憲への動きをストップさせてきたのは市民と野党のがんばりにあること、最終的に断念させるため目前の参院選が大きなチャンスであると発言しました。

野党各党からは、糸数慶子さん（沖縄の風・参）、福島瑞穂さん（社会民主党・参）、井上哲士さん（共産党・参）、そして小川敏夫さん（立憲民主党・参）が登壇。

とりわけ糸数さんからは、参議院・沖縄選挙区で守ってきた平和の議席をバトンタッチすること、そして引き続き沖縄の地でがんばることが報告され、参加者から大きな拍手が送られました。

野党各党との13項目にもわたる政策合意を実現した市民連合の山口二郎さん（法政大学教授）は、若者たちが「変わる」ということ自体に明るいイメージをなかなか持てないなか、政治を変えればいいことがあるんだという手ごたえを感じてもらうために、参議院選挙で最後のもうひとつふんばりをしようと呼びかけました。

「TPPプラスを許さない！全国共同行動」の山田正彦さんは、8000ページ・30章にわたる条約に沿ってどんどん国内法が変えられていく現状があり、戦争法も軍産複合体による

支配につながるもので、いまこそ安倍政権を退陣させようと訴えました。

弁護士の方由美子さんからは、女性の権利を阻害する「永久凍土」をつくりだしている行政・司法・立法の担い手側の問題性は、麻生財務相に典型的に表れていることを指摘。強制された男らしさ・女らしさではなく、自分らしく生きられるようにしようと呼びかけました。

安保法制違憲訴訟をめぐるでは、重要な動きがあった前橋地裁での訴訟について、証人尋問に立った志田陽子さん（武蔵野美術大学教授、憲法学）が、改憲されると、裁判が打ち切られてしまう、これまでのがんばりを無駄にしないために、がんばりましょうと呼びかけました。

「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の木村辰彦さんは、たたかいが全国に広がったことが沖縄の人びとを大いに元気づけており、工事も大幅に遅れていることを報告。野党の政策合意にも辺野古反対の項目が入ったことは画期的であり、参議院選挙で勝利することで、反対の民意を全国で示そうと発言しました。

行動提起に立った高田健さん（9条を壊すな！実行委員会）が、今国会での改憲発議を止めた意義をともに確認し、参議院選挙に向けたとりくみを強めようと呼びかけ、新宿駅西口での7.3市民連合街頭宣伝など、具体的な行動提起を行いました。

横暴を極めてきた安倍政権ですが、全国の人びとの、さまざまなたたかひのなかで、徐々に追い込まれてきています。あきらめず、倦まず、勝利するまでともにがんばりぬきましょう！

「安倍政治を終わらせよう！6.19院内集会」で高野孟さんが講演 “安倍政権の終わりの始まりとなる参院選”

6月19日、国会議員会館前行動に先立って、「安倍政治を終わらせよう！6.19院内集会」（戦争をさせない1000人委員会・立憲フォーラム共催）が開催されました。講師の高野孟さん（ジャーナリスト）の発言要旨を抜粋し、ご紹介します。（文責・事務局）



ひろい視野で見るならば、追い込まれているのは安倍政権なのは明らかです。「八方ふさがり」だったのが、いまや「十二方ふさがり」くらいに膨らんでいます。

これまでの自民党的な立場からしても「似非改憲」としか言いようのない、9条1項・2項をそのままに、自衛隊の皆さんがかわいそうだから第3項をくつつけるんですよ、という軽業的なレトリック。それでもいいから憲法に手を付けたい。

これが自民党総裁3選を果たした目的だったのですが、すでにこれはとん挫したと言って差し支えないと思います。これに最終的に引導を渡すのが今度の参議院選挙です。

アベノミクスの失敗は、安倍政権最大の失政だと思います。官邸が糸を引いている為替相場と株式市場の国家管理によって景気がいいかのように偽装してきた。この偽装が効いているうちに次の「成長の矢」なるものが次々放たれて、景気実態が上向きになるという想定だったのに、何も起こらず、超国家主義的経済といったありさまで、破綻したことがばれないように必死に支えています。

アベノミクスが成功しているというのであれば、堂々と消費税を増税すればいい。できないなら失敗したということ認めることになるので、もう一度衆議院選挙に持ち込んで、先延ばしたら、などと萩生田幹事長代行が言い出しました。

消費税8%増税がありましたが、アベノミクスがうまくいかないなかで、マイナスの影響しか出なかった。このことに懲りて、2回も延期してきた。そして3回目の延期ができるか、いや、いくらなんでもということで、延期を口実とした衆参同日選も流れました。

直近の年金問題は、これらに密接につながっています。社会保障と税の一体的改革を前提に、消費税の段階的増税という与野党合意がありました。安心できる社会の展望をつくるのが議論の出発点でした。

問題の根本は、経済をどのように元気にしていきながら、そこで社会保障と税の一体的改革のプランを描き、安心でき

る将来を提示できるのか。それをめぐってレベルの高い議論ができるのかが問われているのであって、アベノミクス、増税、年金問題はひとつながりです。

原発事故から8年、汚染水タンクが満杯になろうとしています。敷地内には新たにタンクを作る余地はありません。もう術がないのを、安倍は「アンダーコントロール」とウソを言ってオリンピックを誘致し、いよいよ来年には来てしまいます。

辺野古新基地建設をめぐっては、オール沖縄の優位に加え、マヨネーズ状の軟弱地盤問題は隠しようがなくなっています。

外交分野では、北方領土2島の返還合意を大々的に宣伝し、参議院選挙になたれ込む目論見でしたが、まったくお話にもならなかった。

この失敗をすり替えるために、日朝首脳会談を言い出しました。具体的準備は何もなく、トランプ大統領からキム委員長に伝えてくれ、とお願いするばかりでした。

今度は思い付きでイランへ行っただけ。それなりの成果があった核合意を一方向的に離脱したのはアメリカであって、仲介するというのなら、まずトランプに対して物を言うべきです。

最後の博打が同日選であったのですが、政権そのものを失う可能性があるとして公明党が反対するなか、それを賭けてまで打って出るしかないかというところまで追いつめられていました。いくらなんでもリスクが高いということで踏みとどまりましたが、これですべてのカードが手詰まりとなったわけです。

参議院選挙の第一の意義は、安倍改憲の流れをきちんと切断することですが、同時に、属国的にアメリカを中心に置くことで行き詰った外交を、大きく転換するきっかけにしないといけない。そして明治以来続いてきた「大日本主義」からの転換が必要です。

長寿を迷惑としてしか語れない社会はよくない。長命を寿（ことほ）げる社会に向け、年金問題は根本の問題です。野党としてどういうプランがあるのか提示する必要があります。

参議院選挙について、自公を合わせ、そして維新を足しても改憲発議に必要な3分の2には届かないという予測も出ていますが、ああよかったではなく、さらに押し込んで、確実に引導を渡すことが何よりの課題です。野党のがんばりのなかで、早期退陣を実現する可能性も、ないわけではないということをおまておくべきでしょう。

署名活動などに、ぜひご活用ください！ 1000人委員会取り扱いパンフ・チラシ

ご希望の品名・部数・お送り先・お名前を明記の上、事務局までご連絡ください。



「LIFE? LIVE? LIKE? LOVE?」

1000人委員会が発行した、A4判のチラシです。
憲法9条をテーマにしています。
無料でお分けしていますが、送料のみご負担ください。



「憲法、変える必要ありますか?」

1000人委員会が発行した、B5判・8ページのパンフレットです。
自民党による「改憲4項目」の条文案(たたき台素案)を徹底批判。
1冊10円(送料無料で)です。



署名用紙付き市民アクションチラシ

市民アクション発行のA5判・4ページのチラシです。
署名協力の呼びかけと小さい署名用紙がセットになっています。
無料でお分けしていますが、送料のみご負担ください。



「自民党改憲案の問題点と危険性」

「市民アクション」と「法律家6団体連絡会」が協力し作成した、A4判・44ページのパンフレットです。
1冊100円・10冊以上は送料無料で。

今後の主な行動日程

日程の変更や、緊急の行動呼びかけをさせていただくことがあります。

市民連合7.3新宿西口街頭宣伝

日時：7月3日(水) 18時30分～

場所：新宿駅西口

主催：安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合
／戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

安倍9条改憲NO！安倍政権退陣！7.19国会議員会館前行動

日時：7月19日(金) 18時30分～

場所：衆議院第二議員会館前

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
／安倍9条改憲NO！全国市民アクション



9.16 さようなら原発全国集会

日時：9月16日(月・休) 12時30分～ ※15時～デモ

場所：代々木公園B地区

主催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会

協力：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会